Cocoon アドセンス広告の設置の説明書

cocoon テンプレートでの cocoon テンプレートのアドセンス広告の作り方をまとめました。
cocoon テンプレートを使って解説しています。

この「Cocoon アドセンス広告の設置の説明書」の著作権は、全てベルメンエアにあります。

Cocoon テンプレートには、アドセンス広告をプラグインを使わずに、簡単にアドセンス広告を設置できる機能があります。この機能は、「Simplicity2 テンプレート」よりも優れています。

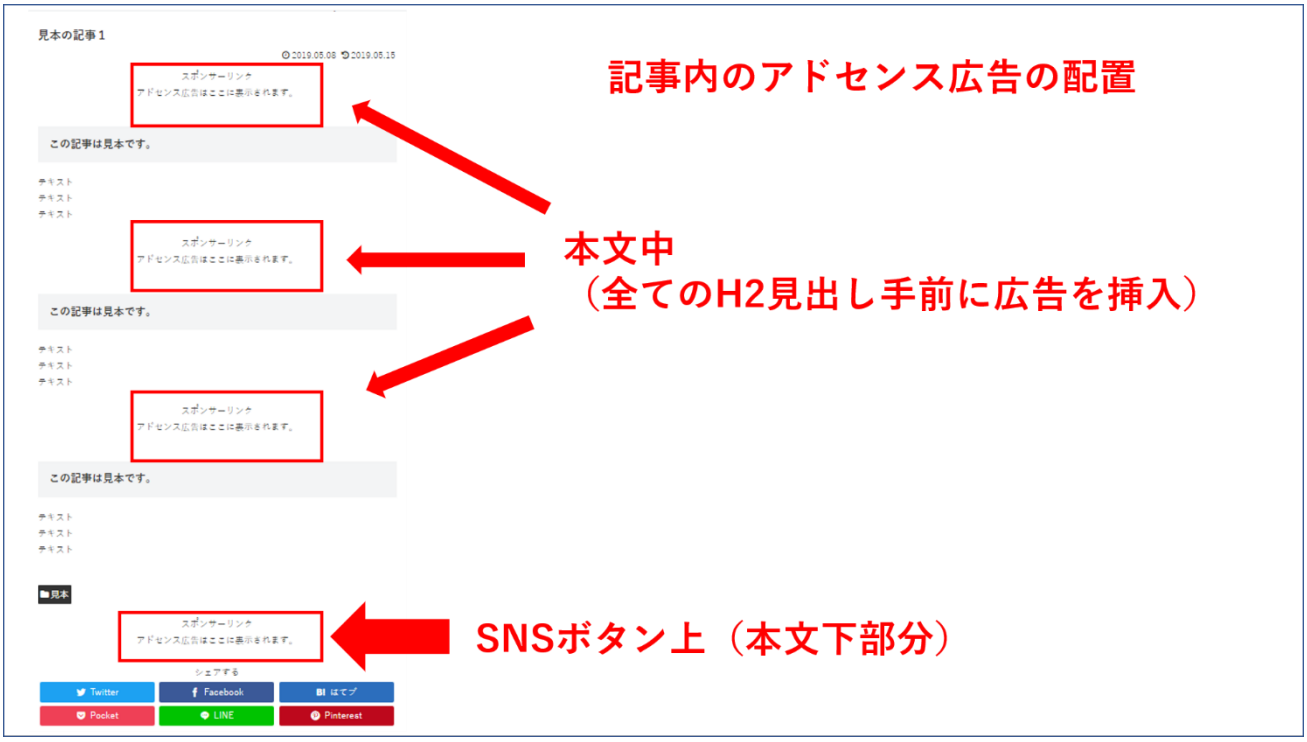
アドセンス初心者の方、アドセンス広告の配置は難しいな、と思われる方は、とりあえず、「自動広告」のみで進めてみてください。私のおすすめは、自動広告のみです。

Cocoon でのアドセンス広告の配置は、私のおすすめの配置です。

アドセンス広告を設置する場所について、私の経験から、使いやすい、クリックされやすいと思われる配置にしています。この配置は、強制ではなく、一例ですので、すでにアドセンス広告の配置について知識のある方、経験のある方は、好きな配置で良いと思います。

アドセンス広告の配置

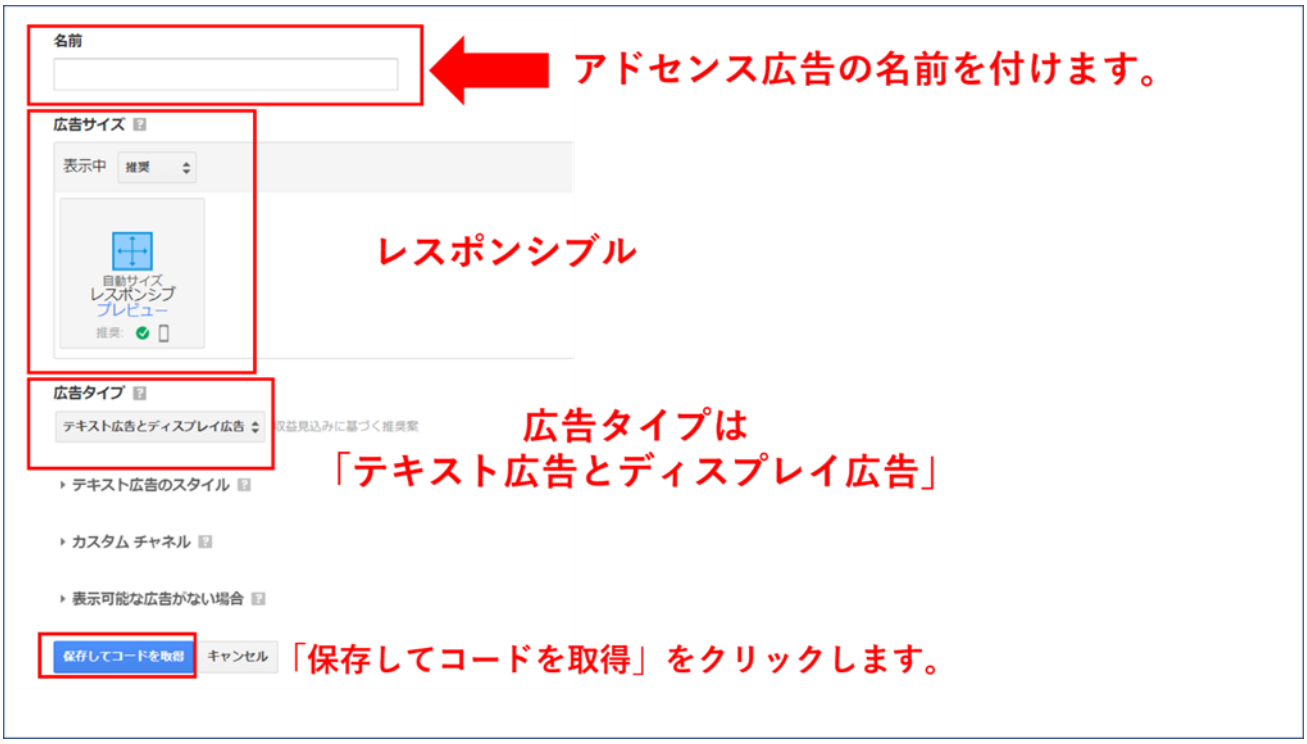
以下のように広告を配置していきます。おすすめの配置です。



まず、始めに、あなたのアドセンス広告「レスポンシブ」アドセンスコードを取得します。

アドセンス広告は、「自動広告」と「テキスト広告とディスプレイ広告」の２つを使います。

アドセンスの管理画面の「広告」→「広告ユニット」で、「新しい広告ユニット」をクリックします。「テキスト広告とディスプレイ広告」を選択します。



アドセンス広告に名前を付けます。

例として

「Cocoon のアドセンス広告レスポンシブ」

と名前を付けます。

広告サイズは「レスポンシブ」を選択します。

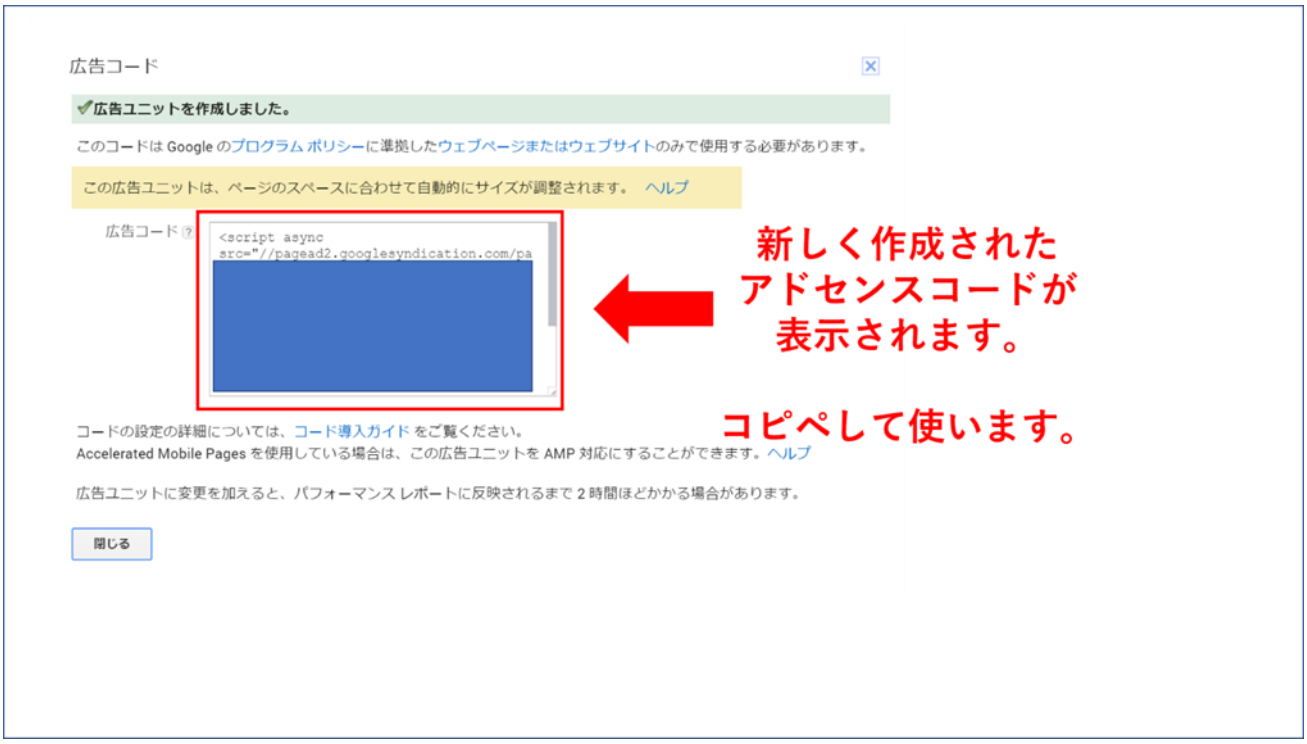
広告タイプは「テキスト広告とディスプレイ広告」

テキスト広告のスタイル・カスタムチャンネル・表示可能な広告がない場合、は、

デフォルトのままで良いです。

最後に「保存してコードを取得」をクリックします。

すると、アドセンスのコードが出てきます。

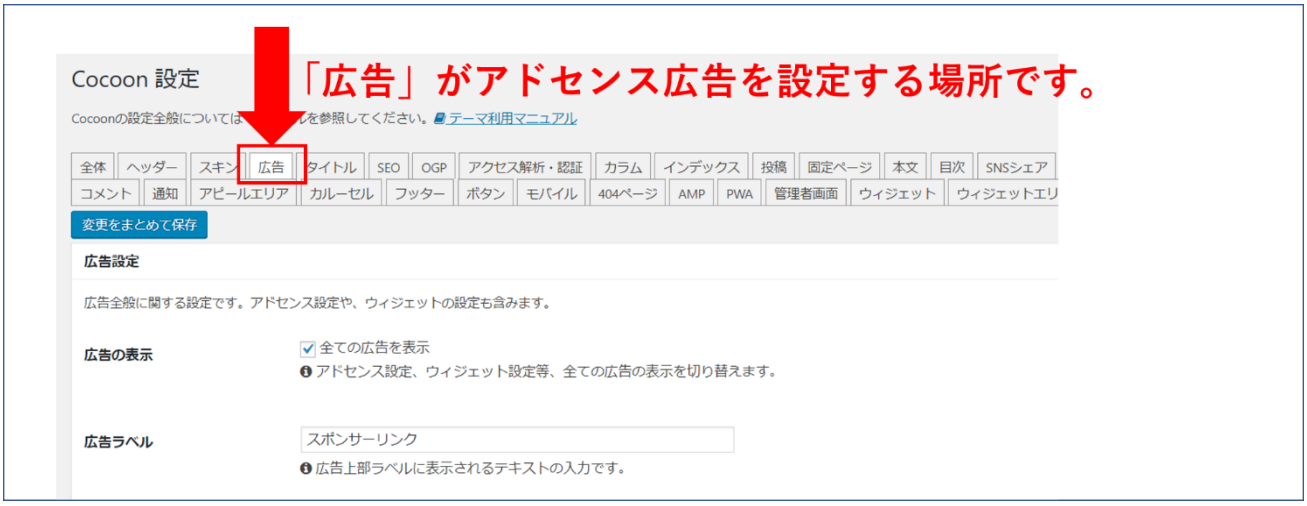

広告コード
✔広告ユニットを作成しました。
このコードは Google のプログラム ポリシーに準拠したウェブページまたはウェブサイトのみで使用する必要があります。
この広告ユニットは、ページのスペースに合わせて自動的にサイズが調整されます。 ヘルプ
広告コード
<script async
src="//pagead2.googlesyndication.com/pa
新しく作成された
アドセンスコードが
表示されます。
コピペして使います。
コードの設定の詳細については、コード導入ガイド をご覧ください。
Accelerated Mobile Pages を使用している場合は、この広告ユニットを AMP 対応にすることができます。ヘルプ
広告ユニットに変更を加えると、パフォーマンス レポートに反映されるまで 2 時間ほどかかる場合があります。
閉じる

以下がアドセンスコードです。

```
<script async
src="//pagead2.googlesyndication.com/pagead/js/adsbygoogle.js"></script>
<!-- Cocoon のアドセンス広告レスポンシブ -->
<ins class="adsbygoogle"
     style="display:block"
     data-ad-client=" "
     data-ad-slot=""
     data-ad-format="auto"
     data-full-width-responsive="true"></ins>
<script>
(adsbygoogle = window.adsbygoogle || []).push({});
</script>
```

このアドセンスコードを、cocoon 設定　→広告　→「広告コード」に貼り付けて使います。

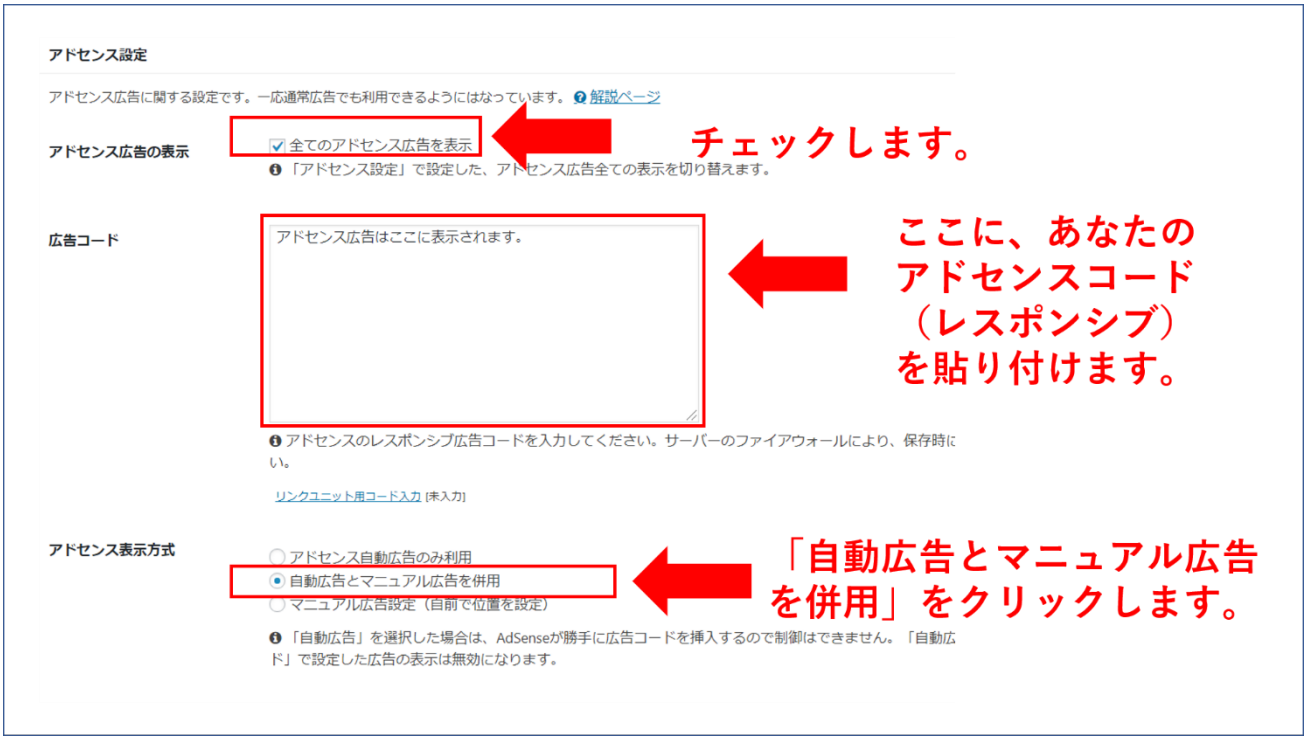
ダッシュボード　→cocoon 設定　→広告設定



「広告」をクリックします。

広告の表示　チェックします。

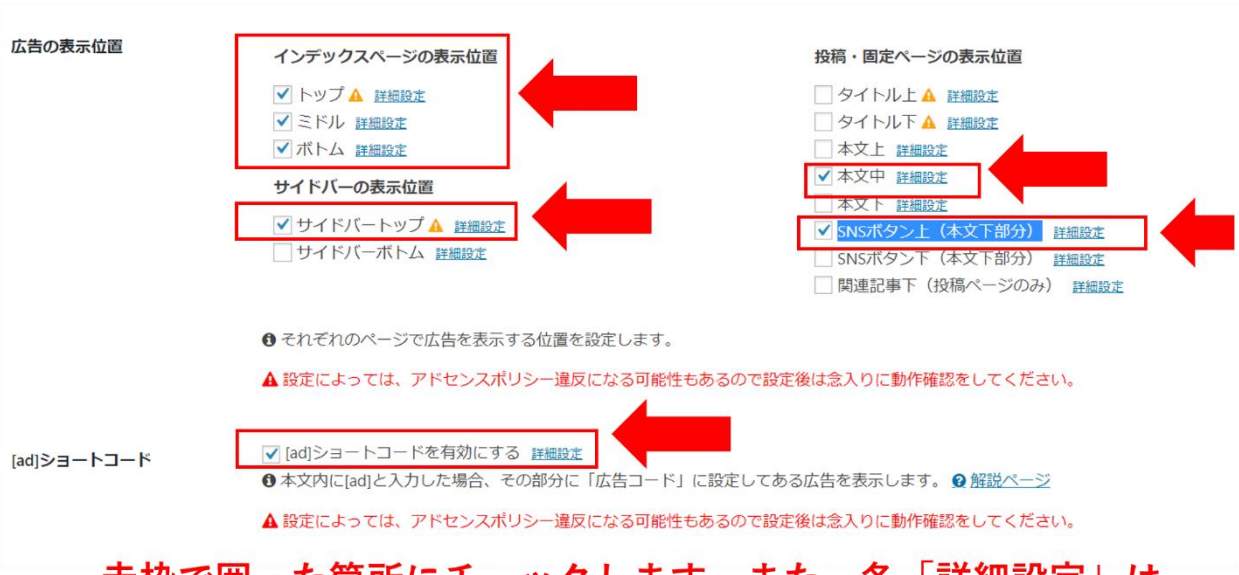
広告ラベル　「スポンサーリンク」と入力します。



アドセンス広告の表示　全てのアドセンス広告を表示　クリックします。

広告コード　先ほど準備しておいた、あなたのアドセンスコード（レスポンシブル）を貼り付けます。

アドセンス表示方法　「自動広告とマニュアル広告を併用」をクリックします。



赤枠で囲った箇所にチェックします。また、各「詳細設定」は、「広告ラベルを表示」にチェックします。

広告の表示位置

インデックスページの表示位置

トップ・ミドル・ボトム　チェックします。

各「詳細設定」は「レスポンシブレクタングル」を選択し、「広告ラベルを表示」にチェックします。

「詳細設定」は、「レスポンシブレクタングル」を選択します。
「広告ラベルを表示」にチェックします。

サイドバーの表示位置

サイドバートップにチェックします。

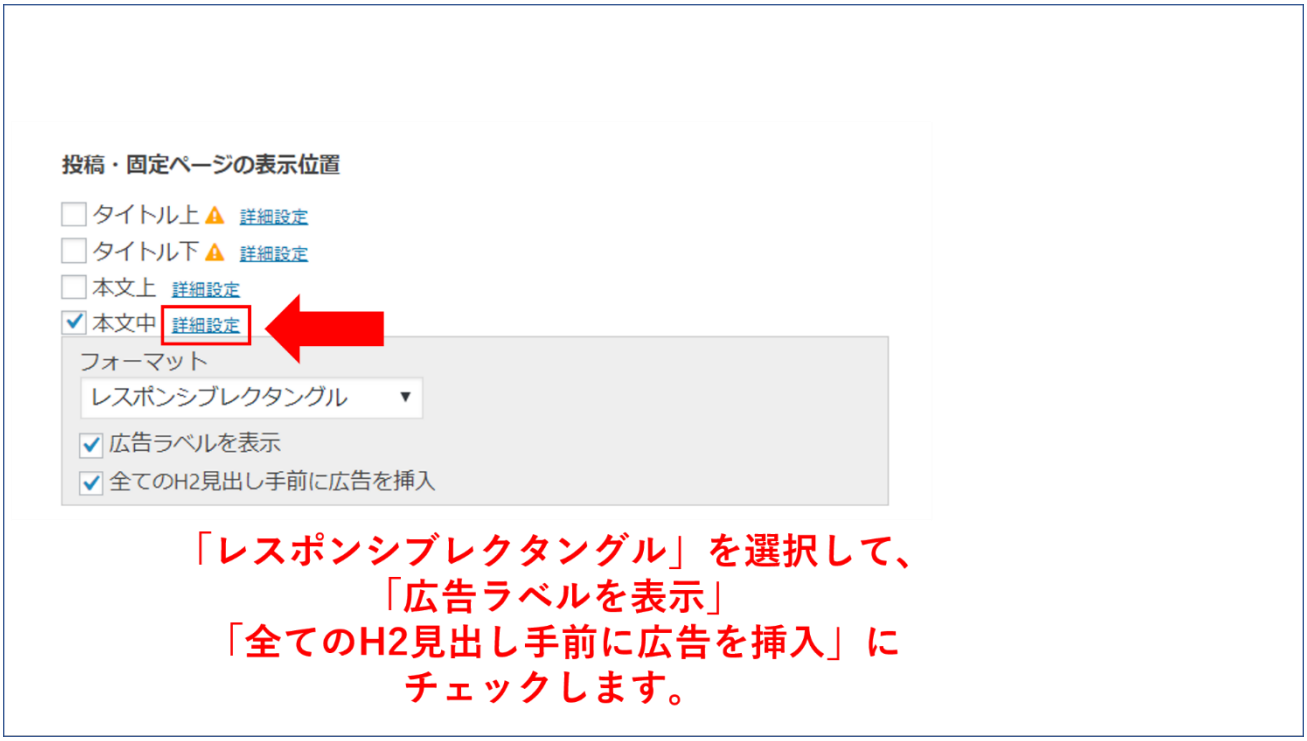
詳細設定は、「オート（Adosense におまかせ）」を選択して「広告ラベルを表示」にチェックします。

投稿・固定ページの表示位置

本文中　チェックします。

詳細設定は、「レスポンシブレクタングル」を選択して

「全ての H2 見出し手前に広告を挿入」「広告ラベルを表示」にチェックします。



SNS ボタン上（本文下部分）チェックします。

詳細設定は、「レスポンシブレクタングル」を選択して「広告ラベルを表示」にチェックします。

[ad]ショートコード

[ad]ショートコードを有効にする　チェックします。

詳細設定は、「レスポンシブレクタングル」を選択して「広告ラベルを表示」にチェックします。

「[ad]ショートコード」とは、cocoon のショートコード機能で、「アドセンスコード」欄にあなたのアドセンスコードを貼り付けたことにより、[ad]というショートコードが自動で作成されます。[ad]＝「あなたのアドセンスコード」になります。

記事内にアドセンスコードを配置するのに使用します。使い方は簡単で、記事を作成するテキストエディタ内で、アドセンス広告を表示したい場所へ、[ad]と入力すると、アドセンスコードが簡単に入力されます。

見本のブログでは、「[ad]ショートコード」は使いませんが、今後、アドセンス広告を任意の場所に設置するために役に立つ機能です。

広告除外設定

デフォルトのままで良いです。

以上が、cocoon のアドセンス広告の設置の説明書です。

ブログ運営に慣れてきたら、さまざまな場所にアドセンス広告を設置して試してみてください。

以上「Cocoon アドセンス広告の設置の説明書」でした。

ベルメンエア

アドセンスリアライズ

https://muninget.com/